

2022
4月～9月



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大阪公立大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

ごあいさつ

生涯学習としての公開講座

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学は統合して大阪公立大学となります。両大学の「知」が結集することになりますので、より充実した公開講座をお届けできるようになると自負しています。目まぐるしく変わる現代社会のさまざまな現象や科学技術などの最新の情報をわかりやすく伝えるもの、また一方でそのような変化の中でも変わらない人間の本質を見究めようとするものなど、常に学問における「不易と流行」を意識しつつ、企画を考えていきたいと思っています。また新大学では「学び」が継続できる環境を整えていく予定です。この公開講座は、まさに「生涯学習」への入口の役割を果たすことになります。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

最後に、このパンフレット全体に「開学記念事業」と銘打っておりますが、公開講座に関してはこれまでの両大学の事業を継承するものであり、当然ながら、この取り組みは今後も継続されるものです。今回限りの記念事業ではないことを付け加えさせていただきます。



生涯学習センター長
西田 正宏



安心安全に受講していただくための対策とお願い



- ・常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・**定員を半分以下に設定**し、座席間の距離を保っています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



- ・ご来場の際及び受講中は**マスクを着用**してください。
- ・入場時に**検温を実施**します。
- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・入室、退室時の**手指消毒**にご協力ください。
- ・会場では**人と人との距離の確保**にご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響等やむを得ない事情により、講座形式や会場を変更して開講する場合があります。



■公開講座一覧

Meet 学問に出会う 難易度★（初心者歓迎）

■ 大阪公立大学 × Osaka Shion Wind Orchestra 春の音楽祭							P3
開催日	4/29	定員	400名	受講料	2,000円	中百舌鳥キャンパス	人文
■ 『今昔物語集』の説話を読み解く							P4
開催日	5/10～7/12	定員	50名	受講料	7,000円（全10回分）	I-siteなんば	人文
■ はじめての道教 ―日本文化に根付く道教の思想―							P5
開催日	5/18～7/13	定員	50名	受講料	3,000円（全3回分）	I-siteなんば	人文
■ 動物病理学のすゝめ							P6
開催日	5/28～7/30	定員	50名	受講料	6,000円（全8回分）	I-siteなんば	ライフサイエンス
■ 文化交流センター講座（春期）							P7
開催日	5月～6月	定員	各60名	受講料	各500円	文化交流センター	横断
■ 文化交流センター講座「学問の先達は語る」（夏期）							P8
開催日	7月～8月	定員	各60名	受講料	各500円	文化交流センター	横断
■ 自然と共生する世界 ―いま、生物多様性を考える―							P9
開催日	6/4～7/2	定員	50名	受講料	5,000円（全5回分）	I-siteなんば	ライフサイエンス
■ 目からウロコのアフリカ探訪 ―文化人類学が紐解く世界―							P10
開催日	9/24～11/5	定員	50名	受講料	5,000円（全6回分）	I-siteなんば	人文
■ アカデミックカフェ							P11
開催日	6月～9月	定員	各15名	受講料	無料	I-siteなんば	横断

Enrich 学問を深める 難易度★★（要基礎知識）～★★★★（専門職向け）

■ 韓国語講座 初中級編						P13	
開催日	4/16～2/18	定員	20名	受講料	13,000円（全20回分）	I-siteなんば	人文
■ 学校コラボレーション講座Ⅰ（知識編）						P14	
開催日	5/27～8/26	定員	70名	受講料	10,000円（全5回分）	オンライン	人文

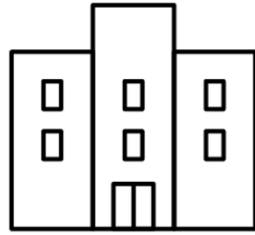
公開講座の会場

※地図は本冊子裏表紙をご覧ください。

公開講座のカテゴリー

※各講座のページ右上に表示しています。

人文（哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など）
 社会（経営、経済、法学、政治、都市防災 など）
IT（情報、通信、人工知能 など）
 理工（数学、自然科学、工学 など）
 ライフサイエンス（生物、農学、獣医学 など）
生活・健康（医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など）
 横断（分野横断）
 その他



Meet

学問に出会う



大阪公立大学 × Osaka Shion Wind Orchestra 春の音楽祭

人文

日時：4月29日(金) 14:20-15:50

定員：400名 受講料：2,000円 対象者：中学生以上

講師：増田 聡（大阪公立大学文学研究科 教授）

演奏：Shionによる金管八重奏 & 打楽器

♪ お申込み開始日時
2022年3月18日(金)
14時00分～

中百舌鳥キャンパス

講義概要

大阪公立大学とOsaka Shion Wind Orchestraがタッグを組み、2部構成で新しい形の学びをお届けします。第1部の講演でShionについて学んだ後、実際にShionの音楽に触れていただきます。知識が経験に変わる瞬間をぜひ体験してください。



第1部 講演 増田 聡（大阪公立大学文学研究科 教授）

ワールド・ブラスバンドと日本のブラスバンド —Osaka Shion Wind Orchestraの文化史的意義について—

日本でのブラスバンドはセミクラシック的なイメージで理解されますが、世界には実に多様なスタイルのブラスバンドが存在します。19世紀以降、西洋諸国の海外進出と管楽器の改良普及に伴い世界中に広まったブラスバンドですが、1923年の大阪市音楽隊の誕生もこの世界史的過程と無縁ではありません。諸外国のブラスバンド文化などと比較しつつ、世界的にもユニークなShionの文化史的意義を紹介します。

第2部 Shionによる金管八重奏&打楽器

華麗なる金管アンサンブルの響き

- ♪ 金管八重奏のための文明開化の鐘
- ♪ 『幻想曲《この道》』
- ♪ 金管楽器の紹介（トーク）
- ♪ 楽器紹介メドレー
- ♪ 歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”

映画音楽の世界

- ♪ 映画「サウンド・オブ・ミュージック」より（Ⅰ テーマ、Ⅱ エーデルワイス、Ⅲ ドレミの歌）
- ♪ アニメ映画「銀河鉄道999」劇場版テーマ
- ♪ アニメ映画「となりのトトロ」から となりのトトロ～さんぽ
- ♪ フェイマスジャズメドレー 「A列車で行こう」「スターダスト」「インザムード」





『今昔物語集』の説話を読み解く

人文

日時：5月10日(火)～7月12日(火) 14:30-16:00 各火曜日・全10回

定員：50名 受講料：7,000円(全10回分)

講師：田中 宗博(大阪府立大学 名誉教授)

I-siteなんば

講義概要

12世紀前半に成立したとされる『今昔物語集』は、全21巻(欠巻アリ)説話総数1000余という大部の著述であり、日本古典文学中最大かつ最高の説話集とも呼ばれます。芥川龍之介が小説の典拠にしたことでも知られますが、「羅生門」「鼻」「芋粥」「藪の中」等が扱うのは、『今昔』世界のほんの一端に過ぎません。天竺(インド)震旦(中国)本朝(日本)と当時における全世界を、説話で表現・把握しようとする作品世界には、実に多様で豊穡なものがあります。この講座では、毎回ひとつの説話を取り上げて読み解きながら、背後にある当代の思想・信仰・世界観についても知見を広めることを目指します。

講義スケジュール



- | | |
|------------------|---|
| 第1回
5月10日(火) | 芥川と『今昔物語集』―「藪の中」そして黒沢映画「羅生門」―
近代の知性芥川龍之介が、『今昔物語集』にどう惹かれたか、その小説と『今昔』の世界とはどう違うのかを考えます。 |
| 第2回
5月17日(火) | 天竺部の説話より(1)―お釈迦様がどう描かれるのか―
『今昔物語集』は、日本語で書かれた最初の仏伝(釈尊の伝記)とも言えます。『今昔』の描き出す、人間的な魅力あふれる釈尊像について考えます。 |
| 第3回
5月24日(火) | 天竺部の説話より(2)―月に兎がいるわけ―
『今昔物語集』天竺部動物関連説話のうち、自らの身体を火に投じた兎の話を探り上げ、お釈迦様の前世の物語(ジャータカ)や民間伝承について考えます。 |
| 第4回
5月31日(火) | 震旦部の説話より―鳥の卵を食した少年の悪報譚―
常に鳥の卵を奪って食した少年が、生きながら脚を焼かれる悪報を受ける話が『今昔物語集』には2例あります。日中双方に及ぶ2話を紹介し、説話伝播と定着について考えます。 |
| 第5回
6月7日(火) | 本朝仏法部の説話より(1)―日本の仏教は聖徳太子に始まる―
本朝部を、日本における仏法の始発で語ろうとする『今昔物語集』は、聖徳太子を巻頭に据えています。太子信仰に繋がる説話を読み、当代の仏法史観念についても考えます。 |
| 第6回
6月14日(火) | 本朝仏法部の説話より(2)―悪人源太夫は西を目指す―
『今昔物語集』は、時にまったく無名の人物を主人公に据えます。讃岐国の悪党のボス源太夫の、劇的な発心と往生を伝える話を読み、当代民衆と仏法の関わりを考えます。 |
| 第7回
6月21日(火) | 本朝仏法部の説話より(3)―都大路のナンパと狐の救済―
それと知らずに狐の化けた女と通じた男は、狐の遺言に従い法華経供養をします。大乘仏教経典『法華経』の力を語る説話を通して、説法唱導について考えます。 |
| 第8回
6月28日(火) | 本朝世俗部の説話より(1)―安倍晴明スーパースター―
平安期陰陽師として名高い安倍晴明の説話を読み、地味な公務員だった彼が、いかにして超人的能力者として伝承されるに至ったかを、説話を通して考えます。 |
| 第9回
7月5日(火) | 本朝世俗部の説話より(2)―〈他者〉としての武士―
平安貴族社会において、武士は薄気味悪い〈他者〉として認識されたようです。『今昔物語集』所載武士説話を通して、人々の武士観念のあり方を考えます。 |
| 第10回
7月12日(火) | 本朝世俗部の説話より(3)―今昔最終話は神話的世界の終焉を告げる―
『今昔物語集』大尾は、近江国にあった超自然的な巨大樹が伐り倒されたと語ります。この神話的な伝承について、その解釈をはかると共に『今昔』結尾の意味を考えます。 |



はじめての道教

— 日本文化に根付く道教の思想 —

人文

日時：5月18日(水)～7月13日(水) 18:30-20:00 各水曜日・全3回

定員：50名 受講料：3,000円（全3回分）

講師：池平 紀子（大阪公立大学国際基幹教育機構/現代システム科学研究科 准教授）

I-siteなんば

講義概要

中国で発祥した道教は、不老不死の神仙となることを目指し、さまざまな術や儀礼をおこなう宗教です。道教は東アジアの宗教文化に大きな影響を与えてきましたが、日本では密教や陰陽道、修験道などに取り込まれる形で間接的に受容されたため、その影響はあまり意識されていません。この講座では、知らないようで意外と身近な道教の歴史や文化について、テーマ毎に初歩的なお話をしていきます。

講義スケジュール



道教と不老不死の術

第1回
5月18日(水)

現代人の目からみれば、不老不死の術なんてあまりにも非科学的だと思われるかも知れません。でもその内容が呼吸法や草木薬の服用、食事制限や瞑想などと聞くと、現代でも行われている養生法と繋がることに気づくのではないのでしょうか。道教の不老不死の術について、思想的ベースとなった『老子』や『莊子』、『易』などについても触れつつお話ししたいと思います。

道教と祈り

第2回
6月15日(水)

道教は仏教の影響を強く受けていて、特に儀礼においてそれは顕著に表れています。第2回では、神々の誕生日や人間の加冠・婚礼などを祝い、平安を祈願する慶事の儀礼、また葬儀や法事などで行われる死者供養の弔事の儀礼など、道教の祈りについてお話しします。

道教と日本

第3回
7月13日(水)

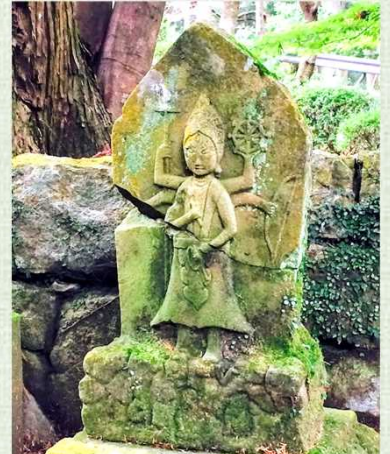
役小角（えんのおづね）を開祖とする修験道や安倍晴明の陰陽道、妙見菩薩として密教で祀られてきた北極星や北斗信仰などは道教の強い影響を受けています。また、近代まで民間で盛んに行われてきた庚申講も道教に由来するものです。日本に見られる道教の影響についてお話ししながら、ではなぜ道教は直接的には受容されなかったのかについても考えたいと思います。



武当山（湖北省）



広沢尊王の生誕祭（台南）



青面金剛（那智）



動物病理学のすゝめ

ライフ
サイエンス

日時：5月28日(土)～7月30日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全8回

定員：50名 受講料：6,000円(全8回分)

講師：山手 丈至(大阪府立大学 名誉教授・獣医師)

I-siteなんば

講義概要

「生老病死」一病の成り立ちを知ること、それが「病の診断・治療・予防」に繋がります。この講座では、イヌやネコ等の伴侶動物を含めた様々な動物の病を「動物病理学(病因とメカニズムを追究する学問)」の観点から専門的に解説します。「生命の神秘」、そして「人と動物が健全に暮らす社会」とは……。一緒に考えたいと思います。

講義スケジュール

第1回 細胞の正常と異常(病理学入門)

5月28日(土)

細胞の正常を知ることによって初めて異常(病の成り立ち)を理解できます。その重要性を学びます。

第2回 ヒポクラテスの木(循環障害の病理)

6月4日(土)

ヒポクラテスは紀元前の医者で体液病理学説を提唱しました。循環障害による様々な病態のメカニズムを学びます。

第3回 細胞の攻防戦略(炎症の病理)

6月11日(土)

炎症は、身体を守るために生じる、攻める細胞と防ぐ細胞の攻防による複雑な病態です。そのメカニズムを学びます。

第4回 暴走する細胞群(腫瘍の病理)

6月25日(土)

腫瘍(癌)は、遺伝子異常により生じる異常な細胞群の増殖(暴走)で、生体の調和を乱します。そのメカニズムを学びます。

第5回 自己とは? 非自己とは?(免疫病理)

7月2日(土)

免疫は、自己と非自己を認識することで、身体を異物から守る機能です。その機能が破綻すると自己免疫疾患などの病を引き起こします。そのメカニズムを学びます。

第6回 細胞内の宇宙戦(ウイルス感染症)

7月9日(土)

ウイルスは細胞内でしか増殖できません。ウイルスと細胞の戦いの結果生じるウイルス感染症の病態とメカニズムを学びます。

第7回 糸瓜とネギ坊主(日和見感染症)

7月23日(土)

へちま
糸瓜水は昔は結核に効果があるとされ、アスペルギルス(カビの一種)はネギ坊主のような構造物から胞子を作り増殖します。このような典型的な感染症を基に、日和見感染のメカニズムを学びます。

第8回 What do you think?(環境と病理学)

7月30日(土)

薬の副作用や環境汚染による公害をどのように防ぐのか……。そのような身近な化学物質による病(薬禍・公害)の発現メカニズムを生活環境との関連で考え、学びます。



文化交流センター講座（春期）

横断

日時：5月～6月 18:30-20:00

定員：各60名 受講料：各500円 ※各回ごとに申し込み

文化交流センター

講義スケジュール



- | | |
|----------|--|
| 5月12日(木) | ご存知ですか、大学評価 —大学教育が基本的人権になる日のために—
講師：西垣 順子（大阪公立大学国際基幹教育機構 教授） |
| 5月19日(木) | 微生物利用技術の最前線
講師：尾島 由紘（大阪公立大学大学院工学研究科 准教授） |
| 5月24日(火) | 抗菌薬が効かない感染症の時代を迎えて —私達が知っておくべきこと—
講師：掛屋 弘（大阪公立大学大学院医学研究科 教授） |
| 5月26日(木) | ことばのかたちの可能性 —20世紀フランスの言語実験から—
講師：原野 葉子（大阪公立大学大学院文学研究科 准教授） |
| 6月2日(木) | これからの暮らしと成年後見制度
講師：鶴浦 直子（大阪公立大学大学院生活科学研究科 講師） |
| 6月9日(木) | 老後の所得保障を考える
講師：川村 行論（大阪公立大学大学院法学研究科 准教授） |
| 6月16日(木) | 『人生会議』—もしものときの医療・ケアに関する話し合い—
講師：森木 ゆう子（大阪公立大学大学院看護学研究科 准教授） |
| 6月21日(火) | のぞいてみよう！プラズマが生み出したプラズマ医療
講師：呉 準席（大阪公立大学大学院工学研究科 教授） |
| 6月28日(火) | 石碑から読み解く地域の古代史 —上野三碑—
講師：磐下 徹（大阪公立大学大学院文学研究科 准教授） |



大阪駅



文化交流センター窓口



文化交流センター講座「学問の先達は語る」（夏期）

横断

日時：7月～8月 18:30-20:00

定員：各60名 受講料：各500円 ※各回ごとに申し込み

文化交流センター

長年、研究と指導にあたってきた名誉教授が、わかりやすく解説します。

講義スケジュール



「住みごたえのある町」をつくる —ドイツ住宅政策の歩み—

7月12日(火)

クオリティが高いことで知られるドイツの住宅は如何にして生まれ、市民生活の中に定着していったのでしょうか？近代以降の住宅政策の歩みをふり振り返りながら、ドイツの都市居住をめぐる現状と今後の課題について紹介します。

講師：大場 茂明（大阪市立大学名誉教授）

江戸時代・道頓堀周辺の社会状況

7月21日(木)

今も大阪の賑わいの中心の一つである道頓堀。江戸時代にも芝居小屋が並び、茶屋営業が赦免された繁華な空間でした。しかし、そのすぐ南には千日墓所や刑場、非人垣外が存在する周縁的な場でした。そうした道頓堀周辺の様子を覗いてみましょう。

講師：塚田 孝（大阪市立大学名誉教授）

ヒトにやさしいモノづくり

7月26日(火)

生活用品、家電製品、住宅設備、公共施設などを誰もが使いやすく、安全・快適にすることが強く求められています。そうしたモノはどのように考えられ、どの様に選ばれよいか、人間工学の視点からわかりやすく解説します。

講師：岡田 明（大阪市立大学名誉教授）

菌体由来の毒素を吸収する光触媒機能性セラミックシート

8月2日(火)

体内に多数の菌が共存しています。口の内には臭気となる毒素を産生する菌もいます。樹脂充填用層状セラミックスの組成、構造を制御し、毒素吸収、光触媒機能の多機能性シートは、マウスケア、化粧品、耐候性建材への応用が期待されます。

講師：横川 善之（大阪市立大学名誉教授）



大阪駅前第2ビル





自然と共生する世界

—いま、生物多様性を考える—

ライフ
サイエンス

日時：6月4日(土)～7月2日(土) 13:30-15:00 各土曜日・全5回

定員：50名 受講料：5,000円

I-siteなんば

講義概要

世界各地での乱獲や開発による生物多様性の損失が気候変動問題と並ぶ地球上の大きなリスクであるとの認識が国際的に広がり、生物多様性の保全・回復への議論が急速に高まっています。本講座では、我々を取り巻く自然環境や生活にも影響を及ぼす陸地・海洋の生物多様性について本学教員が分かりやすく講義する中で、持続可能な生物多様性・生態系について考えていきます。

講義スケジュール



世界・日本・大阪から見た生物多様性

第1回
6月4日(土)

生物多様性の低下とその重要性が認識される中で、世界ではポスト2020の枠組、国内では次期国家戦略の策定に向けた取り組みが進み、大阪府では地域戦略が策定されます（3月予定）。このような取り組みについて紹介し、私たちの暮らしとの関りについて考えます。

講師：平井 規央（大阪公立大学農学研究科 教授）

生態系と人間活動：自然環境の保全方策について

第2回
6月11日(土)

人は生態系に大きな影響を与えています。本講義では、生態系の概念について解説した後、人間活動の拡大による生態系への影響と、その影響を緩和するための自然環境の保全方策について紹介します。

講師：今西 純一（大阪公立大学農学研究科 教授）

植物の多様性の源は何だろう

第3回
6月18日(土)

世界には約27万種の植物が存在しています。日本にはどのぐらいの種がいますか？世界の国々に比べて日本の植物は多様なのでしょうか。なぜ多様性／画一性が生じるのでしょうか。本講義では様々な植物を紹介しながら多様性の源を探ります。

講師：藤原 宣夫（大阪公立大学農学研究科 教授）

海洋の生物多様性と生態系サービス

第4回
6月25日(土)

私たちは海洋から多くの恵みを受けており、その源は海洋生物の多様性から生まれています。本講義では、海洋の生物多様性による生態系サービスについて説明した後、生物多様性の現状と問題についてご紹介します。

講師：中谷 直樹（大阪公立大学工学研究科 教授）

動物の生活史と多様性

第5回
7月2日(土)

地球上では、様々な動物が長い時間をかけて環境に適応し、多様性が育まれてきました。本講義では、様々な動物の生活史や種間関係、行動生態を紹介し、それらの多様性を守ることがなぜ重要かを考えます。

講師：上田 昇平（大阪公立大学農学研究科 准教授）



目からウロコのアフリカ探訪

—文化人類学が紐解く世界—

人文

日時：9月24日(土)～11月5日(土) 13:30-15:00 各土曜日・全6回

定員：50名 受講料：5,000円

講師：宮脇 幸生（大阪公立大学現代システム科学研究科 教授）

I-siteなんば

講義概要

アフリカでは、狩猟採集からサバンナの牧畜、大都市での生活まで、さまざまな暮らしを見ることができます。この講座では文化人類学の切り口から、アフリカの人々のこの多様な生き方を紹介していきたいと思います。私たちの常識とは異なる、けれども魅力的な生き方が、どのように成り立っているのかをお話しできればと思います。

講義スケジュール



第1回
9月24日(土)

狩猟採集民の世界 —狩猟採集の暮らしとは？

農耕・牧畜が始まる以前、人類は長い間狩猟採集で暮らしてきました。それはどんな生活だったのでしょうか？1970年頃まで狩猟採集で暮らしてきたブッシュマンと呼ばれる人たちの生活から探ります。

第2回
10月8日(土)

狩猟採集民の世界 —平等主義を維持する工夫

私たちは階層化された社会に生きています。エライ人に命令されたり、目下の人に命令したり。ブッシュマンの社会にはそれがありません。けれどもそこには、平等主義を維持するためのさまざまな工夫があったのです。

第3回
10月15日(土)

牧畜民の世界 —「物乞い」は文化だ！

私たちとは全く異なる気候風土に暮らす人々には、私たちの想像の上を行く文化やしきたりがあります。アフリカの半乾燥地帯に暮らす牧畜民トゥルカナの「物乞い」の慣習から、文化の多様性について考えましょう。

第4回
10月22日(土)

農耕民の世界 —多様な品種の豊かな世界

日本の農業では、種は研究室で育種され、農民は単一の品種を大規模に栽培します。一方アフリカの農民は、一見シンプルな自給自足農業をしているように見えますが、驚くほど多様な品種を栽培しています。豊かな品種多様化の秘密に迫ります。

第5回
10月29日(土)

スーダンの生活と文化（予定）

スーダン出身で、今は日本で働くアブディンさんに、スーダンの歴史・文化や生活についてお話しいただきます。

講師：モハメド・オマル・アブディン

NPO法人スーダン障害者教育支援の会（CAPEDS）代表理事/東京都多文化共生推進委員会 委員/
東洋大学 国際共生社会研究センター 客員研究員

第6回
11月5日(土)

アフリカの都市社会 —貧者のサバイバル戦略

アフリカでは今、急激な都市化が進んでいます。巨大都市が生まれる一方で、そこには豊かさから疎外された貧しい人々もたくさんいます。けれども彼らはそれに甘んじてはいません。アフリカの貧者のサバイバル戦略を探ります。



Meet 学問に出会う



まちライブラリー@大阪公立大学 アカデミックカフェ

横断

開催月：6月～9月

定員：各15名 参加費：無料 ※各回ごとに申し込み

I-siteなんば

「まちと人」「人と人」とをつなぐ新しいコミュニティの創造をめざしている「まちライブラリー@大阪公立大学」で、本学教員が、通常の講演や授業とは雰囲気を変えて自身の研究やライフワークを紹介するイベントです。

現在の予定

※下記以外の企画も進行中です。決定しましたらWebサイトでご案内いたします。
※各回のテーマ名は2月時点の予定です。募集時に変更になることがあります。



6月24日(金)
18:30-20:30

自律運航船が拓く海上輸送の未来

講師：橋本博公（大阪公立大学工学研究科教授）

9月

サンゴを守る微生物

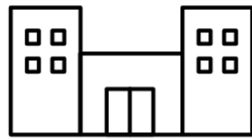
講師：三浦夏子（大阪公立大学農学研究科助教）



会場では新型コロナウイルス
感染防止対策を実施しています



非接触型のモニターで
検温を実施しています



Enrich

学問を深める



韓国語講座 初中級編

難易度 ★★ (要基礎知識)

人文

日時：4月16日(土)～2月18日(土) 13:00-14:30 各土曜日・全20回

対象者：丁寧体(해요体)を勉強した経験のある方 定員：20名 受講料：13,000円

講師：河 正一(大阪公立大学国際基幹教育機構 准教授)

趙 智英(同志社大学学習支援・教育開発センター 助教)

I-siteなんば

講義概要

日常生活でよく使われる基本文型を学び、これらが定着するまで、反復して会話とリスニングの練習を行います。生きたコミュニケーション能力を高めるとともに、韓国・朝鮮語圏の文化的状況にも視野を広げ、異文化理解を目指します。



講義スケジュール

- | | | |
|------|-----------|--|
| 第1回 | 4月16日(土) | 確認【해요体、過去形、러/으러など】 |
| 第2回 | 5月14日(土) | 確認【尊敬形、尊敬形の過去形、아서/어서、지만、지요など】 |
| 第3回 | 6月4日(土) | 家族を紹介する【現在連体形、助詞「처럼」】 |
| 第4回 | 6月18日(土) | 家族を紹介する【고 있다, 아/어 있다】 |
| 第5回 | 7月2日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |
| 第6回 | 7月16日(土) | 友達を慰める【過去連体形、助詞「라도/이라도」】 |
| 第7回 | 8月6日(土) | 友達を慰める【ㄴ/은 적이 있다/없다, 아/어 보다/보세요】 |
| 第8回 | 8月20日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |
| 第9回 | 9月3日(土) | 友達を誘う【未来連体形、ㄹ/을 때、助詞「랑/이랑」】 |
| 第10回 | 9月17日(土) | 友達を誘う【過去形、ㄹ/을 것이다、ㄹ래요/올래요】 |
| 第11回 | 10月1日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |
| 第12回 | 10月15日(土) | 状況を推測する【것 같다、면/으면】 |
| 第13回 | 10月29日(土) | 状況を推測する【助詞「로/으로」(方向)、ㄴ 데/은 데/는데、려고/으려고 하다】 |
| 第14回 | 11月5日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |
| 第15回 | 11月19日(土) | 約束を取り消す【ㄹ 語幹用言、ㄹ/을 수 있다/없다】 |
| 第16回 | 12月3日(土) | 約束を取り消す【니까/으니까、아야/어야 하다/되다】 |
| 第17回 | 12月17日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |
| 第18回 | 1月7日(土) | 許可を求める【으 変則用言、아도/어도】 |
| 第19回 | 1月28日(土) | 許可を求める【아도/어도 되다、면/으면 되다/안 되다】 |
| 第20回 | 2月18日(土) | 総合演習【インタビュー及び発表】 |



学校コラボレーション講座 I (知識編)

難易度★★★★ (専門職向け)

人文

日時：5月27日(金)～8月26日(金) 18:45-20:45

対象者：実務に活かせる方

(現任SSW、学校関係者、教師、社会福祉士、精神保健福祉士、SSW希望者など)

定員：70名 受講料：初回のみ受講 2,000円 全5回受講 10,000円

オンライン

講義概要

スクールソーシャルワーカー (SSW) は、国が開始する前から文科省に働きかけ、2017年4月にはSSWが学校教育施行規則によって法定化されました。また中教審での議論や貧困対策での議論などを経て、チーム学校の重要な一員、学校プラットフォームの中心者として位置づけがなされました。そして複数の自治体が大阪府立大学SSW評価支援研究所を母体に開発、実施しているプログラム (教育行政、実践家、研究者によるエビデンスに基づく意見交換会に基づくもの) の活用によって、SSW実践や自治体に影響を与えています。本講座では、学校や学校に関連する専門職の方にとって必要な知識を提供します (必ずしも直接SSWに関連するとは限りません)。10月から開催予定の講座では、効果的なSSW事業プログラムに基づいたワークに発展します。

講義スケジュール



第1回
5月27日(金)

学校におけるコラボレーションとは

講師：山野 則子 (大阪公立大学現代システム科学研究科 教授)

第2回
6月10日(金)

学校におけるLGBT (性的マイノリティ) の安全と安心

講師：東 優子 (大阪公立大学現代システム科学研究科 教授)

第3回
7月8日(金)

特別支援教育との連携：発達障害の理解

講師：木曾 陽子 (大阪公立大学現代システム科学研究科 准教授)

第4回
7月29日(金)

スクールカウンセラーの実際

講師：高橋 幸治 (大阪公立大学現代システム科学研究科 准教授)

第5回
8月26日(金)

排除型社会における子ども・若者の困難と学校教育の課題

講師：西田 芳正 (大阪公立大学現代システム科学研究科 教授)

■お申し込み方法について

大阪市立大学と大阪府立大学を母体に大阪公立大学が発足します。
2022年4月1日より「大阪公立大学」として公開講座を実施します。

大阪公立大学
Webサイト

大阪公立大学公開講座

Q検索



2022年4月1日から
ご覧いただけます。

各講座の内容をよくお確かめの上お申し込みください。
このパンフレットに掲載していない講座もあります。
募集期間になりましたら、順次大学Webサイトに情報を公開します。

申し込み

※締切日必着



受講案内を
受け取る



受講開始

受講料の支払い
方法は講座毎に
異なります



申込方法は講座により異なります

- 大阪公立大学×Osaka Shion Wind Orchestra 春の音楽祭
- 『今昔物語集』の説話を読み解く ■ はじめての道教
- 動物病理学のすゝめ ■ 自然と共生する世界 ■ 目からウロコのアフリカ探訪
- 韓国語講座 初中級編 ■ 学校コラボレーション講座 I

* 2022年3月まで * 大阪府立大学Webサイトからお申し込みください。

https://www.osakafu-u.ac.jp/event_category/extension-event/

* 2022年4月から * 大阪公立大学Webサイトからお申し込みください。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

上記講座のお問い合わせ

電話 : 072-254-9942

Eメール : gr-shak-ext01@omu.ac.jp

〒599-8531 堺市中区学園町1-1 (中百舌鳥キャンパス C5棟)

大阪公立大学 社会連携課

(月～金) 9:00～17:30 (土・日・祝日) 休み

■ アカデミックカフェ

* 2022年3月まで * 大阪府立大学Webサイトからお申し込みください。

https://www.osakafu-u.ac.jp/event_category/extension-event/

* 2022年4月から * 大阪公立大学Webサイトからお申し込みください。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

アカデミックカフェのお問い合わせ

電話 : 06-7656-0441

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル

大阪公立大学 I-site なんば 3階

(火～土) 9:00～17:30 (日・月・祝日) 休み

■お申し込み方法について

- 文化交流センター講座（春期）
- 文化交流センター講座「学問の先達は語る」（夏期）

＊ 2022年3月まで ＊ 大阪市立大学Webサイトからお申し込みください。

<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/>

＊ 2022年4月から ＊ 大阪公立大学Webサイトからお申し込みください。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

上記講座のお問い合わせ

電話：06-6344-5425

Eメール：sharen-bunkou3@list.osaka-cu.ac.jp

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

大阪公立大学文化交流センター

開館時間（月～金）9:45～21:30 （土）9:45～17:30 （日・祝日）休み

個人情報について

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。



交通アクセス



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

本パンフレットに掲載している
公開講座の会場

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル2階

- 南海「難波駅」下車、なんばパークス方面出口より約800m
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅」下車、⑤出口より約1000m
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅」①B出口より約450m
- 地下鉄御堂筋線/四つ橋線「大国町駅」①出口より約450m

文化交流センター

大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階

- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分



中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅」⑤出口から南東へ約1000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車



の講座に関するお問い合わせ

社会連携課

Tel 072-254-9942

Fax 072-254-6271

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間 月～金曜 9:00～17:30

土曜・日曜・祝日 休み

の講座に関するお問い合わせ

文化交流センター

Tel 06-6344-5425

Fax 06-6344-5524

E-mail sharen-bunkou3@list.osaka-cu.ac.jp

※受付時間 月～金曜 9:45～21:30 土曜 9:45～17:30

日曜・祝日 休み

大阪公立大学
Webサイト



2022年4月1日から
ご覧いただけます。

2022年3月発行